

第40回 全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい 2023の準備を 進めています

百年先の杜の都を見据えて

日本最大級の花と緑の祭典、全国都市緑化仙台フェア（愛称・未来の杜せんだい2023）が、来年4月26日より54日間開催されます。本市での開催は、平成元年に七北田公園をメイン会場に行われた「グリーンフェアせんだい」以来、34年ぶり2度目です。

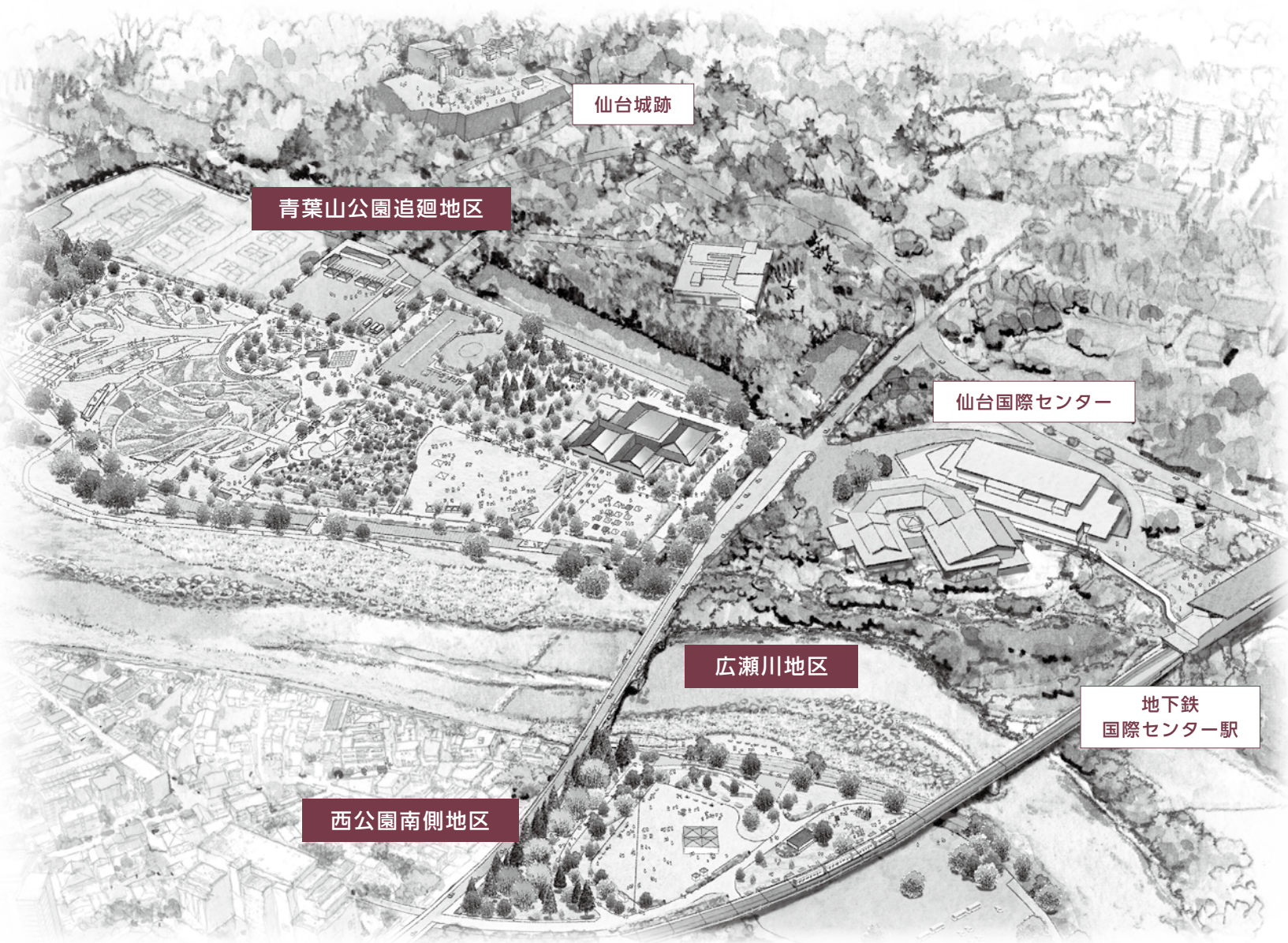
フェアが開催される来年は「杜の都の環境をつくる条例」制定から、50周年の節目を迎えます。この条例は、急激な都市化に伴う開発から杜を守り、未来に発展させることを目指したものです。豊かな自然に調和した都市環境は、今日まで市民と力を合わせてみどりを守り、育んできた中で形づくられました。フェアでは、杜の都・仙台の歩みを振り返るとともに、訪れた人がみどりの大切さを実感できる、さまざまな催しが行われます。

8月には、イベントの開催概要が盛り込まれた実施計画を決定。メイン会場の青葉山周辺をはじめ、定禅寺通等のまちなかエリア、沿岸地域を中心とした東部エリアの各会場で、開催に向け準備を進めています。

青葉山公園追廻地区の大花壇は、フェアの見どころの一つ。約200品種・15万株の花々から成る花壇を、苗や球根を植えるところから市民とともにつくりあげていきます。また、西公園南側地区には、樹木を活用した遊びのゾーンなど、親子で自然の大切さを学べる場を設けるほか、広瀬川地区では花畑や広場を整備します。まちなかエリアでは、花壇や植栽により、人々が集い、滞在を楽しむ憩いの空間を創出。さらに東部エリアでは、東日本大震災による津波被害からのみどりの再生や、防災力の高いまちづくりへの取り組みを発信します。加えて、連携会場での催し等を通じ、まち全体でフェアを盛り上げます。

市民が長い年月をかけて、大切に育んできたみどりあふれる杜の都。全国都市緑化仙台フェアが、こうした本市の魅力を広く発信するとともに、受け継がれてきた杜を次の百年へつなぐ、新たな契機となることが期待されます。

メイン会場完成イメージ図（青葉山周辺）



4/26⇒6/18

未来の杜せんだい2023 ~ Feel green! ~

仙台フェアのテーマは「杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く」。市民の皆さんと一緒につくりあげるイベントです。

メイン会場

青葉山公園追廻地区

仙台七ツの吹き流しを約200品種の花でかたどった、縦約70メートル、横約100メートルの「大花壇ゾーン」、自然と暮らしが調和するライフスタイルを提案する「杜のリビングガーデンゾーン」など、7つのゾーンが誕生します。



▲大花壇「はなばた飾り」

西公園南側地区

広瀬川を望む「水辺のテラスゾーン」、親子で遊べる「グリーンアクティビティゾーン」を整備します。



広瀬川沿いの眺望▶

広瀬川地区

川沿いに花畑や広場などの市民の憩いの場をつくり、広瀬川の魅力をより身近に感じられるエリアとします。

まちなかエリア会場

定禅寺通でのみどりあふれる空間を活用したイベントをはじめ、市中心部の通りには、訪れた人が、花とみどりを楽しみながらくつろぐことができるエリアが生まれます。



◀定禅寺通緑地にはWi-Fi等の環境を整えたワークスペースも提供

●定禅寺通 ●青葉通 ●宮城野通 ●仙台駅ペDESTリアンデッキ

東部エリア会場

東日本大震災の記憶の継承や、みどりの再生等への取り組みを発信します。

●せんだい農業園芸センター ●せんだい3.11メモリアル交流館 ●震災遺構仙台市立荒浜小学校 ●海岸公園 ●高砂中央公園

連携会場

市内の各施設と連携して、みどりに親しむ関連イベントや展示を行います。

●東北大学 学術資源研究公開センター植物園 ●七北田公園 ●野草園 ●八木山動物公園フジサキの杜

各会場での催しの詳細や今後の予定等は、未来の杜せんだい2023ホームページ<https://sendai-feelgreen.jp/>でも随時お伝えします。



この特集に関するお問い合わせは、
全国都市緑化フェア推進室
☎214・8727、FAX214・8714